

見るな。

金銀yourphone

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

e10naにてデフォルトで存在する『見るな』という題名の本。
それを限りなく忠実に再現したものです。

目次

見るな。

1

見るな。

この本を開いた者よ。運良くこの本を見つけ、持ち帰り、のんびりとこの本を開いた者よ。何処どこでこの本を見つけたのかは問わぬ。ここから先の文を見ることは貴様のS A N値を削る事になる。それも大幅にな。それでも読むと言うのであれば仕方無い、我はどうなつても知らぬ。

何を思つてこれを書こうかと思つたかと言うなればやはり我にかけられた呪いのせいである。何の呪いかと聞かれても答えられない。そういう呪いだと思つてくれればよい。ああ、そうそう呪いのせいでこれを見た者は皆死ぬのである。くれぐれも注意して読んでほしい。もう遅いかもしれないがな。

さて、ここまで書いてきた事は全て嘘だ。俺の一人称は我では無いし呪いなどかけられていない。本を読むだけで死ぬなんてことは無い。いや、或あるいはそういう呪いがあるかもしれないが如何いかんせんそのような呪いは知らないな。これを書いている理由は、簡単に言えばただの暇潰しだ。

見たな？

お兄ちゃん、ねえねえお兄ちゃん。何書いてるの？へえ、つまらないから変な言葉をつ

